

5. ぐんま“まちづくり”ビジョンで掲げるぐんまのまちの将来像

「ぐんまらしい持続可能なまち」

～ぐんまのまちの“個性”を活かして“まちのまとまり”をつくりだします～

「ぐんまらしい」とは、ぐんまのまちの個性を活かすこと

【県民意見】

- 歴史資源を活かした地域づくりを。
- 古い歴史や安らぎの空間を大切にしたい。
- 工業力や技術力を活かしたい。
- 産業・歴史文化・生活環境・農業のバランスがとれた地域に。

「持続可能なまち」とは“まちのまとまり”をつくり次のような社会が継続すること

1. 多様な交通手段を選択できる社会

【県民意見】 車がないと移動しにくい。高齢化に備えバスを便利に。道路だけでなく鉄道・駅も活性化を。

2. 医療、介護、教育施設が整っている社会

【県民意見】 子供が伸び伸び育ち学べる地域に。

3. 人と人とのつながりが確保できる社会

【県民意見】 街ににぎわいが戻り活性化を。中心市街地を安心して歩けるように。

4. 自然と共生している社会

【県民意見】 自然豊かな都市を大切にしたい。

5. 多様な就業機会が確保できる社会

【県民意見】 街ににぎわいがもどり活性化を。工業力や技術力を活かしたい。

6. 再生エネルギー活用など低炭素型社会

【県民意見】 リサイクル等が進み、資源を有効利用できるように。地球温暖化問題への取組を。

※「ぐんま“まちづくり”ビジョン」から抜粋

6. ぐんま“まちづくり”ビジョンの将来像実現に向けたまちづくりの7つの基本方針

県民のくらしや行政運営に生じる望ましくない状況を回避し、望ましい「ぐんまのまち」の将来像を実現するための基本方針を「ぐんま“まちづくり”ビジョン」では次のとおり定めています。

将来の都市に生じる望ましくない状況

※「ぐんま“まちづくり”ビジョン」から抜粋

望ましくない状況を回避・解決

7つの基本方針

- 人口減少を前提とした土地利用計画にあわせた公共交通や都市施設の再構築
- 空き地・既存施設の利活用や優遇措置の導入による街なかへの転居の促進や集客施設の誘致
- 地域の誇れる個性・景観・くらしを支える機能を整えた魅力的な「まちのまとまり」づくり
- 都市間移動も都市内移動も高い利便性の確保
- 災害時でも安全・安心な都市の防災機能の強化
- ぐんまの強みを活かした産業の誘致や新エネルギーによる産業創出環境づくり
- 家計にも環境にも優しい付加価値の高い効率的なまちづくり

ぐんまらしい持続可能なまち